

okamoto



第130期

株主通信

2025.4.1 ▶ 2026.3.31

New Basic
身近な暮らしを科学する

オカモト株式会社

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。
ここに、当社第130期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長執行役員 岡本邦彦



先行き不透明な時代においても、 すべてのステークホルダーの方々の「うれしい」を 暮らしと社会に造り続けられるよう尽力してまいります。

第130期(2026年3月期)は、国内経済は資源・原材料価格の高止まりや物価上昇の継続による消費者マインドの慎重化、人手不足の深刻化による景気の押下げがみられたものの、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は持ち直しの動きが継続するとともに、企業の設備投資の底堅い投資意欲に支えられ、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

一方で、国際情勢においては、中国経済の減速や米国の通商政策の予見可能性に欠く状況に加え、中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりが継続しており、先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境下において、当社グループは、各セクションで競争力の強化に努め、持続的成長に向けた事業戦略を実行いたしました。営業部門では取引先需要の影響を最小限に留めるべく、既存顧客との関係強化や新規取引先の開拓に注力するとともに、市場動向を踏まえた価格の適正化を含む柔軟な販売戦略を展開いたしました。生産・管理部門では、新たに導入した基幹システムを用いて、原材料調達、生産管理及び在庫管理の更なる効率化を進めております。また、岡山新工場の竣工や、一部工場における生産から在庫、出荷までの効率化を目的とした省人化設備の稼働開始など、将来の更なる業容拡大に向けた投資を具体化いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は108,040百万円(前年同期比1.0%減)となりました。営業利益は6,248百万円(前年同期比28.2%減)、経常利益は8,595百万円(前

年同期比12.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,855百万円(前年同期比27.3%減)となりました。

株主還元については、持続的な成長に向けた設備投資や著しく変動する市況への機動的な対応を図りつつ、株主の皆様への安定的な配当と自己株式取得を継続することで、更なる企業価値の向上を目指してまいります。今期は前期に引き続き中間配当・期末配当ともに60円とし、年間配当金は120円とさせていただきます。

第131期は、とりわけイラン情勢の不安定化を背景とした供給リスクの高まりにより、エネルギー・原材料調達面への影響が懸念されており、製造業を営む当社にとって重要な経営課題となっております。一方で当社は「ゴム・プラスチックの総合メーカー」一筋の長い歴史の中で培ってきた高い信用、信頼に裏付けされた調達ネットワークや生産体制の強化を通じ、環境変化への対応力向上に取り組んでおります。引き続き、安定供給と収益性の両立を図りながら、持続的成長が期待できる分野への経営資源の重点配分や事業ポートフォリオの再構築を通じて、生産性の向上及び収益力の強化を図るとともに、株主の皆様への継続的な利益還元にも努め、株価を意識した経営に努めてまいります。

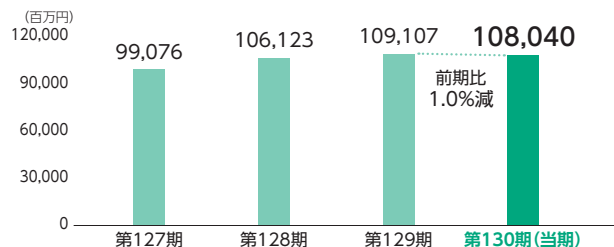
社員一同「モノづくりの可能性から、身近な「うれしい」を暮らしと社会に造り続ける。」という当社パーパスを胸に、株主の皆様のほか、お取引先様、お得意先様、従業員、地域社会や住民の皆様など、すべてのステークホルダーの方々の「うれしい」を暮らしと社会に造り続けられるよう尽力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援、ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

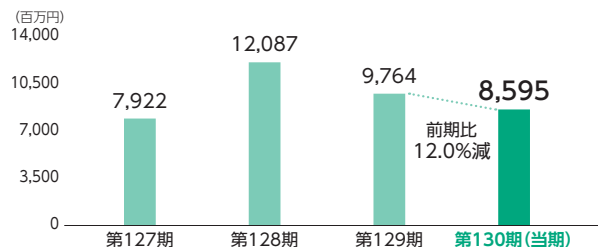
主要連結財務データ

	第127期 2023年3月期	第128期 2024年3月期	第129期 2025年3月期	第130期(当期) 2026年3月期
売上高	99,076 百万円	106,123 百万円	109,107 百万円	108,040 百万円
営業利益	6,898 百万円	10,040 百万円	8,701 百万円	6,248 百万円
経常利益	7,922 百万円	12,087 百万円	9,764 百万円	8,595 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	4,893 百万円	7,388 百万円	6,674 百万円	4,855 百万円
1株当たり当期純利益	271.06 円	420.34 円	383.35 円	282.84 円
総資産	127,176 百万円	143,858 百万円	146,134 百万円	164,167 百万円
純資産	79,099 百万円	91,581 百万円	94,464 百万円	110,631 百万円
1株当たり純資産	4,316.20 円	5,054.09 円	5,442.79 円	6,467.02 円
配当	110.00 円	135.00 円	120.00 円	120.00 円

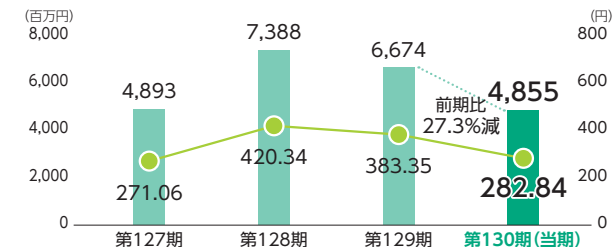
● 売上高



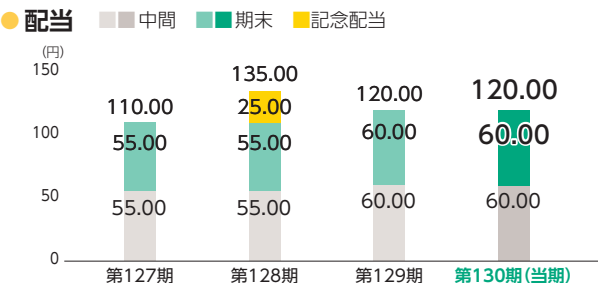
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



● 配当



NEWS & TOPICS

オカモトグループの様々な活動や
取り組みをご紹介します。



東北大学、東京薬科大学による共同研究グループが、 水あめの浸透圧を利用した創傷被覆材「ATK[®]パッド」の 治癒メカニズムを解明

東北大学及び東京薬科大学の研究グループによる共同解析の結果、当社が開発した創傷被覆材「ATK[®]パッド」の「治りに必要な成分を逃さない」という特徴が、免疫細胞を活性化させ、キズの治りを早めることが明らかになりました。この研究成果により、本製品が、キズに悩む患者の課題解決のカギとなることが期待されます。

本研究は、2026年3月6日付けで科学誌Scientific Reportsに掲載されました。

OTC医薬品普及啓発イベント

— よく知って、正しく使おう OTC医薬品 — 参加

イチジク製薬は、OTC医薬品（市販薬）の正しい理解と適正使用の促進を目的として、本イベントに継続して参加しています。

本イベントは、昨年で第18回目を迎え、10月上旬に東京都内の神田明神 文化交流館EDOCCOにて開催され、29社が参加しました。

会場では、薬剤師や登録販売者による相談対応のほか、生活習慣病に関連する数値の無料測定などの健康チェックを実施し、多くの来場者で賑わいました。

また、各メーカーによる製品紹介やサンプル配布に加え、イチジク製薬親善大使のかんちゃんをはじめとしたOTC医薬品のキャラクターが登場し、会場を盛り上げました。

イチジク製薬は今後も、このような活動を通じて、生活者の皆様の健康維持・増進に貢献するとともに、OTC医薬品の適正使用の普及に努めてまいります。



西日本初の生産拠点 岡山工場・倉庫 建物完成

2025年10月15日に、オカモト国内5番目の工場、そして当社では西日本初の生産拠点となる「岡山工場・倉庫」が完成・引渡しを受けました。

当工場は岡山県の南西部に位置する井原市が新たに開発した稲倉産業団地内に総敷地面積47,357㎡（約14,325坪）、延べ床面積20,698㎡（約6,261坪）の工場・倉庫棟3棟と事務所棟1棟から成る建物で構成されています。

2025年11月27日には大舌井原市長をはじめとする井原市関係者、岡山工場の建設を請け負っていただいた企業の関係者等をお招きし、竣工式を執り行いました。現在、2026年度内の本格稼働に向けた内装・設備工事を進めております。



竣工式の様子



岡山工場全景

人材活用

◆ ダイバーシティ&インクルージョンを目指す活動

当社では、出産や育児により従業員が就労機会を失うことのないよう、産前産後休暇制度や育児休業制度に加え、育児短時間勤務制度や時間単位有給休暇制度を導入し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

- 育児休業実績 (期間：2025年4月～2026年3月) **37名 (男性25名、女性12名)**
※男性の育児休業取得率 **65.8%**
- 育児短時間勤務利用者 (期間：2025年4月～2026年3月) **32名 (男性1名、女性31名)**
- 年次有給休暇取得率 (期間：2024年7月～2025年6月) **67.7%**

Society



脱炭素社会に向けた取り組み

◆ ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)への取り組み

当社は、CSR（企業の社会的責任）の向上及びサステナビリティ経営の推進を重要な経営課題の一つと位置づけ、環境負荷低減に向けた取り組みを積極的に進めています。

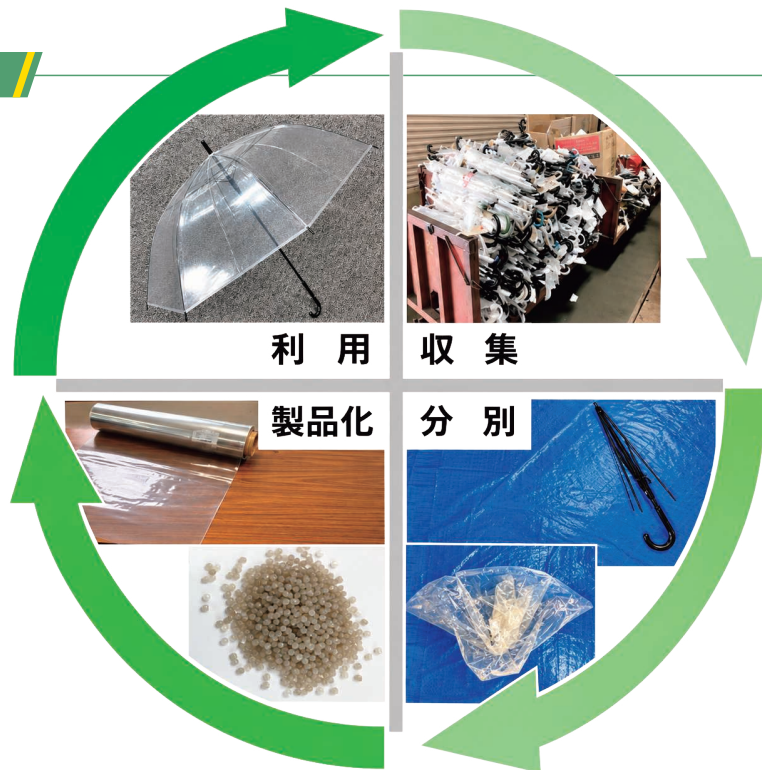
その一環として、建物の『ZEB(Net Zero Energy Building/ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)』化を推進し、設計段階から省エネルギー性能を高める提案を行うとともに、『ZEB』認証を取得しています。

『ZEB』とは、快適な室内環境を維持しながら、「省エネルギー（消費エネルギーの削減）」と「創エネルギー（再生可能エネルギーの創出）」を組み合わせることで、年間の一次エネルギー消費量の収支を実質ゼロにすることを目指す建築物です。

当社では、岡山工場の一部に建物の高断熱化、高効率設備（トッランナー機器）の導入、さらには太陽光など自然エネルギーの活用により、省エネルギー性能を実現しています。これにより、CO₂排出量の削減による環境負荷の低減に加え、エネルギーコストの抑制による経済的価値の創出にもつなげています。

今後も、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、環境と企業価値の双方を高める取り組みを継続してまいります。





◆ 忘れ物傘の 「傘 to 傘」リサイクル

当社は、西日本旅客鉄道株式会社、ジェイアール西日本商事株式会社、平林金属株式会社との4社協働により、駅や列車での忘れ物傘に着目したサーキュラーエコノミーの実証実験を進めております。

JR西日本近畿エリアでは、駅や列車での忘れ物傘が月間約9,000本にのぼり、その多くが産業廃棄物として処理されています。今回の取り組みでは、回収した傘のうちビニール傘約4,000～5,000本をリサイクル原料として選別・加工し、シート部分を当社静岡工場においてペレット化します。さらに、当社独自の樹脂ブレンド技術及び加工技術により再生シートへ加工し、協力メーカーと連携してリサイクル傘としての製品化を目指します。

また、製造したペレットは傘以外にも、ネームホルダーやクリアファイル、小物ケース、サコッシュなど様々な製品への活用が可能です。

当社は、忘れ物傘の水平リサイクルを通じて資源循環を促進し、循環型社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

Environment

産業用製品事業

ゴムの成膜技術を応用し、主にプラスチック原料からフィルムシートを製造し、他の事業者者に供給する事業。原油やナフサの市場動向と、世界的なプラスチック原料の需給バランスに影響を受けやすい環境にあり、当期は、国内外で積極的な営業活動を続けましたが、原材料の高止まり等があり増収減益となりました。

売上比率
70.1%

多層フィルム事業

オレフィン系多層フィルムは異なる素材を多層構造に押出成形することにより、レトルト食品包装、豆腐等の容器トップ材、医療用輸液バッグのほか、電池部材等の工業用途にも使用されています。



農業用フィルム事業

全国の自然環境や作物の特性に合わせて、保湿性や耐久性の向上のほか、紫外線抑制、散乱光等の機能性、温度抑制効果機能のある農ビ(ポリ塩化ビニル製)や農PO(ポリオレフィン製)のフィルムを販売しております。



フレキシブル コンテナ事業

ポリ塩化ビニルやポリエチレンといった合成樹脂のほか、化学品や飼料・肥料等を運搬するためのコンテナバッグを販売しております。



フィルム事業

一般用・工業用として製造販売するフィルム・PPシートは、手帳やクリアフォルダ等の身近な製品から、看板広告、工場の間仕切り等、様々な用途に使用されています。

コロナ禍では、透明フィルムに抗菌や抗ウイルス処方を施し、飛沫防止用としても多く使用されました。

また、当社内でデザインを開発・印刷する建材用フィルムは、玄関ドアやユニットバス等の住宅建材の他、看板広告や自動車インテリア等にも使用されています。



粘着テープ・ 工業用テープ事業

梱包用途や養生用途として、布・クラフト紙・ポリエチレンなどの様々な基材を使用した粘着テープを販売しております。

また、ブチルゴムを使用した住宅建材用テープ、ポリイミドやポリエステル等のフィルムを使用した精密機器・精密加工等に使用される工業用テープを販売しております。



食品衛生関連事業・ 食品用脱水・吸水シート事業

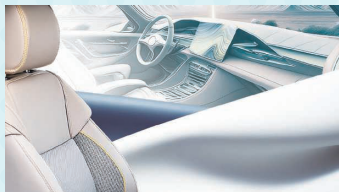
食品スーパーや飲食店向け業務用としてのラップフィルム、ポリエチレン製やニトリルゴム製の手袋のほか、特殊多層構造の「カシニーナ ピタッ!とラップ®」を販売しております。

また、浸透圧の力で肉や魚を脱水する「ピチット®」、高吸収ポリマーで吸水する「レッドキーパー®」を販売しております。



車輦内装材事業

自動車のダッシュボード、座席、ドア等に使用される内装用表皮材に加え、二輪車の座席用表皮材、椅子張り用表皮材等を販売しております。国内工場(静岡県)及び米国(オハイオ州)、中国(湖北省)に工場を構え、表皮のデザインをはじめとした仕様開発から試作・量産までを一貫して行っております。



壁紙事業

様々な色を重ね合わせた壁紙や、起伏をつけて立体的な表現を施した壁紙のほか、汚れや臭い対策を施した壁紙など、幅広いラインアップの製品を販売しております。

つくば工場(茨城県)をメイン工場とし、新製品開発に取り組んでおります。



生活用品事業

コンドームや医療用・家庭用手袋などのゴム製品のほか、カイロ、除湿剤、紳士靴、長靴、滅菌器、浣腸等を製造販売する事業。

浣腸やカイロは新規採用などがあり増加しましたが、コンドームのインバウンド需要の減少や中国事業の売上減、手袋の競争激化等があり減収減益となりました。

売上比率
29.6%

除湿剤事業

「水とりぞうさん[®]」の愛称でご好評いただいている除湿剤は、タンクタイプ(550mL、550mL炭、1100mL)、シートタイプ(クローゼット用、引き出し用、下駄箱用等)のラインアップで販売しております。

また、押し入れなどに布団を収納する際の湿気や、家具裏のちょっとしたすき間のカビ対策品等も幅広く展開しております。



コンドーム事業

当社のコンドームは日本(茨城県)・タイ(パトゥムタニ県)・中国(広東省)の3工場で生産しております。

「オカモトゼロワン(0.01mm台)」「オカモトゼロツー(0.02mm台)」「ゼロゼロスリー(0.03mm台)」を中心に様々な商品を国内外で販売しております。

人気のオカモトゼロワンはリピートユーザー向けに8個入を上市しました。また、購入時の心理的ハードルを下げるため、親しみやすいポップなテイストの「ゼリーモンスター」を発売し、好評を得ております。



カイロ・温熱シート事業

天然ミネラル成分「パージ」配合による遠赤外線効果のある「快温くん[®]」シリーズを販売。加えて、冬のアウトドアやスポーツ観戦にも活躍する高温タイプの「快温くんプラス鬼熱[®]」、フェムケアカテゴリでは一般医療機器の温熱シート「温女子」シリーズも販売しております。



手袋事業

家庭用手袋として「ビルパール®」「マリーゴールド」「サーモ発泡」などに加え、北欧調デザインと機能性を兼ね備えた「カシニーナ」シリーズや、使いきりタイプ等を販売しております。

また、精密機器メーカーでも使用実績のあるクリーンルーム用手袋や、農作業や機械整備作業の従事者にご好評な作業用手袋等も販売しております。



メディカル事業

医療機関向けの手袋は、用途に合わせた幅広いラインアップで販売しております。また、主に病院・クリニック等で使用される高圧蒸気滅菌器は、様々なサイズを展開しております。

超音波プローブカバーにおいてはコンドームの技術を転用し、ラテックス製や非ラテックス製の商品を産科・婦人科、泌尿器科へ販売しております。また、浸透圧を利用した高度管理医療機器の創傷被覆材「ATKパッド」も販売しております。



シューズ事業

1964年創業のスニーカーブランド“パンサー”や高級紳士革靴の“ユニオンインペリアル”を直営店である日比谷OKUROJI店をはじめとした全国で販売しております。また、アウトドア・釣り・ガーデニング用から、様々な業種に対応した作業靴まで、幅広いラインアップの商品でご好評をいただいております。



その他事業

かつて自動車用タイヤを生産していた群馬工場跡地（群馬県太田市。約60,870㎡）を有効活用し、自社にて太陽光パネルを設置し、「オカモト太田ソーラーパーク」として太陽光発電事業（発電能力は約4,230kW）を行っております。



会社概要 (2026年3月31日現在)

社名	オカモト株式会社
設立	1934年1月10日
資本金	13,047,630,757円
従業員数	2,593名(連結)
本社	〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号 電話(03)3817-4111(代表)
大阪支店	〒540-0022 大阪府大阪市中央区糸屋町2丁目4番6号 電話(06)4793-8500(代表)
名古屋営業所	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1丁目4番12号 電話(052)559-0327(代表)
福岡営業所	〒815-0036 福岡県福岡市南区筑紫丘1丁目23番7号 電話(092)557-2600(代表)

取締役 (2026年6月26日現在)

代表取締役	岡本 邦彦	取締役	高島 寛
取締役	田中 祐司	(監査等委員)	
取締役	田中 健嗣	社外取締役	徳弘 高明
取締役	野寺 哲生	(監査等委員)	
取締役	久米 孝之	社外取締役	山宮 道代
社外取締役	菅野 百合	(監査等委員)	

執行役員 (2026年6月26日現在)

社長執行役員	岡本 邦彦	執行役員	佐藤 達也
専務執行役員	田中 健嗣	執行役員	伊藤 延之
専務執行役員	田中 祐司	執行役員	内山 祐之
常務執行役員	野寺 哲生	執行役員	細谷 久雄
常務執行役員	久米 孝之	執行役員	若林 茂孝
常務執行役員	佐藤 篤史	執行役員	川井 晴英
常務執行役員	谷口 雄二	執行役員	北岡 耕三
常務執行役員	山崎 実	執行役員	津下 昭

オカモトの技術を支える国内生産拠点・海外拠点

当社グループは、国内の拠点それぞれがゴムとプラスチックの加工技術を深化させるとともに、総合メーカーとしてそれぞれの技術を融合させ、発展してまいりました。またグローバルに展開するお客様のニーズにお応えするため、中国やタイ、米国等に拠点を拡張しております。これからも国内での研究開発の推進、国内で策定する品質管理基準の統一的な運用を基礎としながら、世界レベルでの生産と供給の最適化を図り、より多く社会に貢献できる企業を目指してまいります。

国内生産拠点

●静岡工場

所在地: 静岡県榛原郡吉田町神戸1番地
生産品目: フィルム、多層フィルム、
農業用フィルム、壁紙、
車輦内装材など



静岡工場

●茨城工場

所在地: 茨城県龍ケ崎市板橋町字
西山1番地
生産品目: コンドーム、粘着テープ、
ホウ酸ダンゴ、手袋、カイロ、
食品用脱水・吸水シート、ビデ



福島工場

●福島工場

所在地: 福島県いわき市平赤井字
日渡71番地
生産品目: ラップフィルム、
ポリプロピレンシート、
除湿剤、フレキシブル
コンテナ、ゴムバンド、
インジェクションブーツ



岡山工場

●つくば工場

所在地: 茨城県牛久市桂町2200-2
生産品目: 壁紙

●岡山工場

所在地: 岡山県井原市下稲木町3027番1



Siam Okamoto Co.,Ltd.



Okamoto Sandusky Manufacturing,LLC.



廣東岡本衛生科技有限公司

- Siam Okamoto Co.,Ltd.
- Okamoto Rubber Products Co.,Ltd.
- Okamoto Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd.

- 武漢岡本汽車內飾新材料有限公司
- 廣東岡本衛生科技有限公司
- 岡本貿易(深圳)有限公司
- 岡本(香港)有限公司
- Vina Okamoto Co.,Ltd.

- Okamoto U.S.A.,Inc.
- Okamoto Sandusky Manufacturing,LLC.

海外拠点



茨城工場



つくば工場

タイ

- Siam Okamoto Co.,Ltd.
事業内容: ラテックス手袋の製造
- Okamoto Rubber Products Co.,Ltd.
事業内容: コンドームの製造
- Okamoto Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd.
事業内容: ポリエチレン手袋の製造

ベトナム

- Vina Okamoto Co.,Ltd.
事業内容: ゴム長靴の製造

中国

- 岡本貿易(深圳)有限公司
事業内容: 車輻内装材、コンドームの販売
- 廣東岡本衛生科技有限公司
事業内容: コンドームの製造
- 武漢岡本汽車內飾新材料有限公司
事業内容: 車輻内装材の製造・販売

香港

- 岡本(香港)有限公司
事業内容: ビニルフィルム、医療・日用品の販売

米国

- Okamoto U.S.A.,Inc.
事業内容: ビニルフィルム、医療・日用品の販売
- Okamoto Sandusky Manufacturing,LLC.
事業内容: 車輻内装材の製造・販売

■ オカモト化成株式会社



オカモトが製造する「農業用・工業用フィルム」をメインに、コンシューマー向け商品「粘着テープ・家庭用手袋・食品用ラップ」等を販売しています。特に農業分野では、自社工場（愛知県）へ導入した最新鋭のヒートシール加工機による高品質加工製品を、施設園芸に携わる皆様に供給しております。また、りんご等の日焼け防止カーテンシステムとして独自開発した「バリあつぷる」は、果樹事業者の皆様の高温対策にも一役買っています。

■ イチジク製薬株式会社

1925年、田村廿三郎医師が「イチジク印軽便浣腸」を開発して以来、101年にわたり「イチジク」ブランドのもと浣腸の製造・販売を行ってきた家庭薬メーカーです。

便秘は性別や年齢を問わず身近な問題であり、放置すると健康に影響を及ぼすおそれがあります。

イチジク浣腸は、「飲まない便秘薬」として長年多くの方にご愛用いただいております。0歳児から高齢者まで幅広い世代に対応した製品を取り揃えております。また、お子様の便秘に悩む保護者の方々に向けた啓発活動にも積極的に取り組んでおります。



▲用途や症状に合わせて
選べるラインアップ



▶イチジク製薬親善大使
「かんちゃん」

■ オカモト環境開発株式会社



地球環境の保護への取り組みを強化し、廃プラスチックの再利用を推進して廃棄物としての排出量を削減するため、2020年に設立されました。生産工程で排出される端材等を再利用した新製品の開発や、忘れ物傘に着目した再資源化モデルの実証実験への共同参画などを通じ、循環型社会の構築へ向けた活動を積極的に進めております。

■ ヒルソン・デック株式会社

1980年の創業以来、独自に第二種医療機器製造販売業としての許可を取得し、医療機関が治療や検査に使用する器具を滅菌する際の「滅菌器」を製造してまいりました。

医療機関の物理的な環境や滅菌する器具の種類等に応じて、様々な大きさや設置方法の滅菌器をラインアップとして取り揃えております。



■ 船堀ゴム株式会社



▲工業用指サック

1959年、江戸川区船堀の地で創業した「工業用指サック」メーカーです。原材料にはコンドームと同じ天然ゴムラテックスを使用し、「薄くて丈夫、柔らかくて使いやすい」というゴムの特性を生かして製品ラインアップを広げ、精密機器に使用される電子部品などの製造現場でも愛用されております。

また硫黄や亜鉛等を含まない製品などの販売に加えて、業務用コンドーム事業も展開しております。

■ 理研コランダム株式会社

1935年に、財団法人理化学研究所で研究開発されたアルミナ系人工研磨材「砥粒」(コランダム)を用いて、研磨布紙の製造・販売を目的に設立されました。

研削・研磨に欠かせない「砥粒」という粒状ないし粉末状の原料を、ニーズに応じて、布、紙、フィルム・金属等に付着させることにより、研磨シート、研磨ベルト、フラップディスク(多羽根ディスク)、OA機器用紙送りローラー等の製品として製造販売しております。「砥粒」単体での販売も行っており、サンドブラストや半導体用シリコンウエハーのスライス加工等の用途で使用されております。



株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式総数 17,088,903株(自己株式を除く)
 ※上記より控除した自己株式数610,464株

株主数 5,476名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	1,485	8.69
丸紅株式会社	1,442	8.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,314	7.69
株式会社みずほ銀行	849	4.97
有限会社八幡興産	706	4.13
やよい会	666	3.90
BNP PARIBAS MADRID/2S/ JASDEC/SPANISH RESIDENTS/ UCITS ASSETS	600	3.52
損害保険ジャパン株式会社	334	1.96
ティ・エス テック株式会社	333	1.95
株式会社日本カストディ銀行	326	1.91

(注) 1. 信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 1,314千株
 株式会社日本カストディ銀行 326千株
 2. 持株比率は自己株式を除いた発行済株式総数に対しての割合です。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日
 (中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 (特別口座の口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
 郵送物送付先 〒168-8507
 東京都杉並区和泉2-8-4
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 お問い合わせ先 みずほ信託銀行 証券代行部
 ホームページ: <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>
 フリーダイヤル: 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
 ※株式に関する事務手続きはお取引の証券会社にお問い合わせください。
 公告方法 電子公告
 (<https://www.okamoto-inc.jp/>)
 但し、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

表紙



大事な地球

人間も含めた色々な生物が生きる地球を大切にしたいというメッセージを込めて描きました。

アーティスト 梅田桃子さんプロフィール

小学生から絵を描くことが好きで気が付けば50年ぐらいのアート活動になります。主にパステル画で似顔絵からPOPな絵を描いています。最近は絵本を自主制作で作っており施設などに置いてもらっています。

オカモト株式会社

〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号
 (03)3817-4111 (代表)

当社WEBサイト <https://www.okamoto-inc.jp/>

